

環境メールマガジン 第25号

発行日：平成29年2月8日
発行元：野洲市環境経済部環境課
「野洲市環境保全活動推進事業」
電話：077-587-6003

野洲市では、事業所の環境保全担当者を対象に毎年環境研修会を実施しております。当研修会では、環境に係る法令や環境管理技術等を理解してもらい、事業所の皆さまが積極的に環境保全に取り組んでいただくことを目的としております。本号では環境研修会の内容をご紹介します。

第17回目となる研修会では、日本発条株式会社 滋賀工場（甲賀市水口町笹が丘1-5）様に受け入れていただき、環境保全の取り組み事例を見学させていただきました。誠にありがとうございました。

第18回目では、環境事故の事例紹介を特定非営利活動法人NPOびわ湖環境の佐野副理事に講義していただきました。

第17回野洲市環境研修会(平成28年12月12日(月)実施) 日本発条株式会社 滋賀工場様にて

<事業所概要>

日本発条株式会社様は、横浜市に本社を構えておられ、自動車の足回りを支える「自動車用懸架ばね」、パソコン等で使用される「HDD用サスペンション」で世界トップクラスのシェアを占めておられます。

野洲市内にも機械式立体駐車装置を生産する野洲工場を構えておられます。

社名：日本発条株式会社
創立：昭和14年（1939年）9月
本社：横浜市金沢区福浦3-10
従業員数：4,866名（単独）、20,757名（連結） ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
売上高：6,405億円（連結）

※平成28年（2016年）6月末時点

NHKニッパツ
日本発条株式会社

<http://www.nhkspg.co.jp/>



横浜事業所

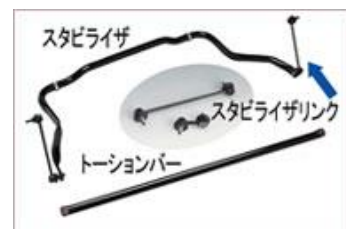
今回の研修先である日本発条株式会社 滋賀工場様は、昭和48年（1973年）に懸架ばねの専門工場として新設され、自動車のサスペンション用コイルばね等を生産されています。



滋賀工場
(甲賀市水口町笹が丘1-5)



コイルばね



スタビライザ／トーションバー

<見学内容（一部ご紹介）>

滋賀工場の概要や生産ラインの見学、環境保全等の取り組み事例を紹介して頂きました。本メールマガジンでは環境保全に関する一部分をご紹介します。

日本発条株式会社 滋賀工場様では、工場内に「道場」と名付けられた模擬訓練場を設け、安全や品質、環境等の向上を目指し、基本行動訓練を工場長を含め、従業員全員が受講されています。



①「省エネ訓練」



「指差呼称」により、電源のオン・オフを確認し、不要な電気使用を減らす訓練。

②「廃棄物分別訓練」



廃棄物の適正処理のため、工場内で発生するゴミの分別について学ぶ。

③「緊急事態対応訓練」



油類漏えい対応訓練。

1. 「油水流出」発見！！
2. 漏えい想定場所を特定
3. 油水流入、雨水溝遮断
4. 吸着マットセット
5. ゴム板セット
6. 土のう積み上げ
7. 雨水溝遮断

「道場」による社員教育は、人材育成の一環として始められ、当初は安全面での教育を目的にスタートされました。「道場」における基礎動作訓練は、合格の認定を受けるまで受講し続けることになっており、全従業員に教育が行き届いています。

他にも、遊び心を取り入れ、社員同士が競争し、スキルアップするような取り組みも行われています。

日本発条株式会社 滋賀工場の皆さまには、お忙しい中、当市の研修を受け入れてくださったことを改めてお礼申し上げます。

第18回野洲市環境研修会平成29年1月24日(火)実施
「リスク管理と事故事例」 講師:NPOびわ湖環境 佐野副理事長

<研修概要>

NPOびわ湖環境の佐野副理事長に「リスク管理と事故事例」というタイトルで、環境事故の事例紹介をして頂きました。普段、事故が起こっていないからと、設備の点検・管理を怠ったり、危険箇所の放置をしていると、事故の原因となる場合があります。

日頃から設備の点検はもちろん、事故の恐れのある箇所を放置せずに、対策を講じるようにしてください。

***事故復旧対策に多額の費用がかかる。**

資材の投入、処理業者への支払い、被害補償等

***土壌汚染、地下水汚染につながれば更に多額の費用がかかる。**

土壌の入れ替え、廃棄物処理、浄化处理、監視のための井戸設置等

***事故復旧対策のために従業員等の人手がかかる。**

原状復旧作業、再発防止策、行政への報告等

***関係者に迷惑をかけることにより信用が失墜する。**

地域住民、自社製品使用者、一般従業員、行政等の関係者等

事故事例

重油移送ポンプ（フランジ部）のパッキンが劣化し、重油噴出。建屋の隙間から地下に浸透した重油が、降雨とともに側溝を通じて敷地外に流出。下流1.5キロに広がる。

1000円のパッキン交換を怠ったため4000万円の費用が発生。

